

衆議院地方創生に関する特別委員会ニュース

【第201回国会】令和2年4月15日（水）第6回の委員会が開かれました。

1 地方創生の総合的対策に関する件

・北村国務大臣及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者）亀井亜紀子君（立国社）、松平浩一君（立国社）、今井雅人君（立国社）、関健一郎君（立国社）、清水忠史君（共産）、藤田文武君（維新）

（質疑者及び主な質疑事項）

亀井亜紀子君（立国社）

国家戦略特別区域法改正案（スーパーシティ構想）

ア 改正案提出の経緯及び地方制度調査会における審議の有無

イ 改正案が成立しなくてもトヨタのスマートシティ構想（静岡県裾野市）を進めることができることの確認

ウ パソナグループ関係の認定事業数及び利害関係者がスーパーシティ構想関係の有識者懇談会座長であることの問題性

エ 改正案と個人情報保護法改正案及び特定デジタルプラットフォーマー法案との関係の有無

オ 我が国の個人情報を海外のプラットフォーマーが取得することの問題性

松平浩一君（立国社）

（1） データ連携基盤整備事業者に対する個人情報の提供を可能とする「特別の理由」の認定

ア スーパーシティ構想による認定要件の緩和の有無

イ 各省庁及び地方自治体に広い裁量権があることに対する内閣府の見解及び内閣府による関与の在り方

ウ 個人情報が同意なく提供される場合もあり得ることについて住民に確認する必要性

（2） スーパーシティ構想に基づく都市間格差拡大の懸念

ア 全国展開に係る内閣府の見解

イ 横展開に参加せずに格差が生じた場合は自治体独自の判断として割り切るのかについての大臣の見解

（3） スーパーシティ構想に参入する民間事業者の選定

ア 地方自治体がスーパーシティエリアに応募する前段階で特定事業者との相談が行われる可能性

イ 民間事業者の公募が形骸化するとの懸念

今井雅人君（立国社）

（1） 新型コロナウイルス感染症対策

ア 技能実習生が布製マスクの製造に従事することを可能とする特例措置の概要

イ 技能実習生に係る新型コロナウイルス感染症への対応

ウ 農業技能実習生の受入に関する柔軟な対応の必要性

（2） スーパーシティ構想

ア スーパーシティエリアの選定は透明性及び公平性に欠けるとの考えに対する大臣の見解

イ スーパーシティ構想が目指す未来社会の内容

ウ データ連携基盤整備事業者へ国や地方自治体が提供するビッグデータの有効性

エ スーパーシティ構想の実現には民間事業者のデータ提供が不可欠との考えに対する大臣の見解

関健一郎君（立国社）

（１） 特区諮問会議

- ア 特区諮問会議の構成員の人数及び任命権者並びに会議の運用形態
- イ 有識者議員の選定プロセス及び構成のバランスについての考え方
- ウ 有識者議員の選定プロセスの透明化を担保する必要性
- エ 有識者議員における利害関係者の有無について確認

（２） スーパーシティ構想

- ア 住民合意形成のプロセスとして想定されている例
- イ 想定されるスケジュール
- ウ 住民合意形成について一定のルールを設ける必要性
- エ スマートシティとの違い
- オ 事業者選定プロセスの透明化の必要性
- カ スーパーシティ構想実現に向けた大臣の決意

清水忠史君（共産）

（１） 新型コロナウイルス感染症対策

- ア 雇用や住居を失う者がいることについての大臣の見解
- イ 住居を失った者に対する地方自治体の支援メニューとして地方創生臨時交付金の活用が想定されていることの確認
- ウ 離職者住居支援給付金への地方創生臨時交付金の活用を検討する必要性

（２） 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に資する統計データ等の提供内容や方法について国民に開示し説明する必要性

（３） スーパーシティ構想

- ア ビッグデータ中の個人データの利用停止又は消去を請求する権利の有無
- イ 全ての住民が事業計画の内容を理解しメリット及びデメリットを把握する機会が設けられることの確認
- ウ 基本構想について全ての住民の合意が図られることの確認並びに住民合意の基準及び内容
- エ 事業計画に反対する住民がいる場合の取扱い及び反対した住民が意見を述べることのできる制度の有無
- オ 事業計画に個人情報の取扱いや個人の権限が盛り込まれることの確認
- カ 事業計画についての住民の判断材料とするために所管省庁の専門家の審査を行う可能性
- キ 個人情報を取得されたくない住民が公的サービスの対象外とされる懸念についての大臣の所見

藤田文武君（維新）

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のための国会運営の在り方についての意見表明

2 国家戦略特別区域法の一部を改正する法律案（内閣提出第5号）

- ・ 亀井亜紀子君（立国社）及び清水忠史君（共産）が討論を行いました。
 - ・ 採決を行った結果、賛成多数をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。
- （賛成 - 自民、公明、維新 反対 - 立国社、共産）